水げん通信

どこよりも早く良くする

守・盛・森の早良づくり

第15号 2011年 新春号



農業は世界で考えず、水域で考える。

最近の農業関係の新聞記事から始めます。

2010年11月7日、西日本新聞、1面、「TPP 協議開始決定 参加判断先送り 政府基本方針太 平洋地域と経済連携強化」。2面、「農政見直し不 可欠/産業界には追い風 前例ない自由化 コ メ、牛肉など影響深刻 自動車など競争力強化 へ」。3面、「政府 TPP 協議開始決定 依然強い反 対論 与野党とも巻き返し懸命 『開国』へ船出 波乱含み 政府 TPP 協議開始決定 関税特例は

TPPで、"開国"なんぞの言葉がでてきています。 なんで今さら、開国は明治維新でしょ。平成維新で は、むしろ、"さ・こ・く"、ではないでしょうか?

TPP 参加は製造業、輸出産業にはいいことでし、 うが、"鎖国"は無理としても、「農業は除外」と、 きちんと国際舞台で意見を言うべきだと思います。 共感する国はまちがいなく多いはず。賛成はごく少 数。結局、作物ごとに、最低価格で生産できる国だ けが賛成するだけ。残りの国は、「は・ん・た・い!」 に、間違いない。裏取引や別の目的での妥協的約束 がない限り。

ことの愚かさ。農業維持は環境を守ること。さらに、 各国の自立を裏付けるもの。工場生産で生まれてく るものと、土地から生まれてくるものの違いを理解 すべき!」と。強い意志を持って望めば、多くの国 から尊敬される。ただ大きな声に従うのだけは止め にしてください。

「農業は除外」、どうしてそれが言えないのですか。 「生産性(低価格)だけで世界に同じ食料を供給し、

生産性が低いところを土地を荒れたままに放置する

さらに、いまの円高だと一層の輸入が進むでしょ う。結果、国内の食料生産が一層沈滞へ。そして、 私たちの育み続けていた日本の風景が、そして、文 化が、心が消えていく・・・。

見方を変えます。農林業は、温暖化ガスの炭素化 産業で、これから最も重要な産業です。それは、地 域によって、地形や気象が異なり、地域でとれる物、 とれ方が違う。農林水産業は、生(いのち)の素の 生産。そして、そのためには土地とそこを流れる水 系が必要。だから、農業は「世界で考えず、水域で 考え」なければならない。

● 玉井プロフィール

1951 年 生まれ

市政のことでお困りのことや、ご意 見をお持ちのことはありませんか?

● 市政相談タイム

下記の時間と場所で、予約なしでご 相談を承っています。どんなことで も、何人でも玉井と話しにお越しくだ

- ■時間 16:00~17:00 【予約なしでも構いません】
- ○月・水曜日

民主・市民クラブ議員控室 (福岡市議会議会棟 11 階) TEL.092-711-4736

○火・木・金曜日 玉井てるひろ事務所 (早良区野芥 3-26-7)

TEL.092-405-3000

1967年 附属福岡中学校 卒業 1970年福岡県立修猷館高校卒業 1975年京都大学工学部建築学科卒業 1977年京都大学工学研究科建築学修士課程修了 1977年福岡市役所勤務(1989年まで) 1978年福岡県庁舎の保存再生を進める会代表(1981年まで) 1988年アメリカ、プリンストン大学修士課程修了 1989年アメリカ、ニューヨーク米国法人勤務 1992 年 ケニア共和国、国立ジョモ・ケニヤッタ農工大学講師(1993 年まで) 1994年 九州大学 非常勤講師 (1995年 3月まで) 1994年都市計画コンサルタント会社設立(現在まで) 1994年 博多まちづくり学校 事務局長 (1996年まで) 2000年 佐賀大学 客員教授 (2001年3月まで) 2003年 コンビニエンスストア 経営開始 (現在まで) 2007年福岡市議会初当選(現在まで) 資格:一級建築士、建築主事資格、福岡県まちづくりアドバイザー

2010年11月2日、西日本新聞、「市農工商連 携を 北九州商議所 利島新会長が就任」;「利島 氏は就任会見で『市民、市政を含めた意味での"市 農工商連携"で、街が市民が豊かに生活できる活 動に取り組みたい』と語った。」

なかなか面白い言葉「市農工商連携」。士農工商 の士はサムライでしたが、ここでは"市"に変えて いますね。私は、早良では、一歩進めて(もとに 戻って?)、"士"を自治ととらえて、「士農工商」で、 やれないかと思っています。

経済政策を国がする時代は終わったと思っていま す。金融政策などは残ると思いますが、特に「"し ごと"育成政策」は、地方に任せるしかない。とい うのは、地方、地方で農業も含めた経済の成り立ち が違い、なすべき策が違うから。そして、日本社会 は成熟し、多様化してきている。

これからは、一つひとつの"しごと"支援から経 済政策を組み立てるべきです。ここ20年間の言葉 だけの国の経済政策は幻滅で終わっています。農業 は水域という自然循環地域で考える。

毎週日曜日、午前11時より1時間程、 油山川(野芥校区)を清掃しています。 ―緒にさわやかな汗をかきませんか? で参加いただける方は、事務所まで ご連絡ください。

中止や時間変更などの確認は、水 べからのまちづくりサイト (www.



● 元気な "からだ "づくり

12月議会で、「元気な"からだ"づくり」について質問致しました。

■3つの提案

基本姿勢は、「まず自分で、次に、地域で、『元気な"からだ"づくり』が できるように、公的支援を考える」こと。

- 1.「食育」の観点から、地産地消を進めるため、地域あげて協力できる 什組みをつくる。
- 2. 子供も大人も地域活動で"からだ"を使い、体力維持を図る。
- 3. 真似されることのない相撲・剣道の国際大会を開催する。

この3つを提案しました。



1.「食育推進」について ●

- ▼ 市民の栄養管理、ダイエット支援などのために、市民自らの手で行う栄養・健康 管理支援事業をおこなう。
- 福岡市ならではの品質レベルの厳しい基準を設け、福岡流通市場での食品の高品 質化を図り、福岡の地産品の販売力を高める。
- 少量高価流通を地産地消で図っていくことを推進していく。



2.「"しごと"を通した "からだ" づくり」について ●



- 遊休地を学校農園として、地域の人たちによって維持・管理し、子ども達の学習に生かす。
- 農業に関心があり仕事を探している人の新規就業への入り口として、農商工連携の"しご と"インキュベーターとして、放置されている土地や農地を、行き場のない働き手に開放する。
- 小学校で農地を借り受け、総合学習などに活用する。また地域が学校と一体となって、農林 業への新規就業の入り口をつくる。

3.「相撲と剣道振興」について ●──

- 混迷するプロ相撲、子ども達に忘れ去られようとしているアマチュア 相撲を、福岡市から復活させる。
- ○日本のスポーツを、それを育んだ文化を世界に知らせる都市戦略として、 相撲と剣道のアマチュア国際大会を開催する。
- オリンピックなど身の丈に合わぬ大競技大会ではなく、小規模でも国際的 な認知を勝ちとることができるスポーツとして、相撲と剣道を振興する。

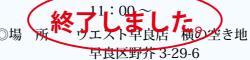




● 選挙事務所開き

市議会議員2期目を目指して、選挙事務 所開きを下記のとおりにおこないます。 ぜひご参加ください。

◎日 時 平成23年1月16日(日)



(玉井事務所より南へ2軒隣)

※地下鉄野芥駅より徒歩約10分 野芥四丁目バス停すぐ

●「新春政治集会」のお知らせ

玉井てるひろ後援会では、下記のとおりに「新春政治集会」を開催しす。 皆様とご一緒に「政治の今とこれから」について考えたいと思います。 ぜひご参加ください。

◎日 時 平成23年2月13日(日)

14:00~15:00 / 受付13:30~

◎会 場 ももちパレス 小ホール (3階)

早良区百道 2-3-15 (地下鉄藤崎駅すぐ)

◎参加費 5,000 円

※この催しは、政治資金規正法第八条の二に規定する政治資金パーティです。

